

# そよげ風

山口市立小郡小学校

No.21 学校だより

平成23年7月1日

## トイレのスリッパと挨拶から始まる本校のキャリア教育

校長 上田 保明

6月上旬、お客さんを校内案内しておりますとトイレを突如としてご覧になり、「トイレのスリッパがきちんとそろっている学校は珍しいです。小郡小学校の子供たちは素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。下足箱の靴はきちんとそろっており自信を持っておりましたがトイレのスリッパまでは気がつきませんでした。振り返ってみますと職員も日頃から気をつけ、声をかけていたようです。またその背景には各家庭のしつけもあるなど一人合点したところです。次に使う人のことをおもいやる心遣いは豊かな社会生活を過ごす上で大切なことです。

今、少子高齢化の進む中、若者の職業意識が変わり、いわゆるフリーター（定職をもたない）やニート（職に就かない）、パラサイト（親に寄生）といった若者が増えたため文部科学省は危機感を高め“キャリア教育”を小学校から実施するよう唱え、山口県教育委員会も重点指導事項の一つに掲げています。キャリア教育とは、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」を小学校から行って、若者の職業意識を変えようとするものです。

小学校では一体何をすればよいのでしょうか。小郡小学校でも地域学習でいろいろな職場取材したり、いろいろな職業の方を招いてお話を聞く機会を設けたりしていますが、私は小学校では社会生活を営む上で大切な基本的な生活習慣を身に付けさせることが重要と考えます。立派に社会生活をこなせることがキャリア教育の基礎ではないかと考え、その素地をしっかりと養うのが小学校教育の責務と考えるのです。挨拶ができること、身の回りの整理整頓ができること、服装がきちんとしていること、相手に応じた言葉遣いができること、トイレのスリッパなど公共のものは次に使う人のことを考えてあげられること等々社会の中で生きる生き方を学ばせたいと思っています。

その点、先の訪問者の方の言葉は嬉しかったのです。基本的な生活習慣は一朝一夕に身に付くものではありません。まして目に見えにくいトイレのスリッパにまで気を配ることはなかなかできることではありません。お客さんがたまたま見られたとき整頓されていたのでしょうか、それでもすごいことです。各家庭でのしつけもしっかりなされていることを実感した事例でした。小郡小学校では、確実にキャリア教育を実践中で、身に付けつつあります。ただ、挨拶は気になります。交通指導に立たれた保護者の方からもよい評価は聞きません。トイレや挨拶から始まるキャリア教育というキャッチフレーズで、今一度、学校と地域・家庭が一体となって子供たちの望ましい生活習慣づくりに関わりたいものです。将来の日本を背負う誇りを持った職業人を育てるために。

## ～6月を振り返って～

**6月6日(月)あいさつ運動開始**



玄関前で、保護者によるあいさつ運動が開始されました。PTA生活教養部が中心となって計画され、年4回実施されます。

また、子供たちによる「あいさつ運動」も始まりました。自宅での朝の「おはよう」のあいさつから始めてみませんか。さわやかなあいさつから素敵な「対話」が生まれることもあるはずです。

**6月8日(水)教職員対象救急蘇生法講習会**



水泳シーズンを迎えるに当たり、山口南消防署の職員を指導者としてお迎えして、教職員対象の救急蘇生法講習会を開催しました。心肺停止後、3分間が勝負の時間であること等、心肺蘇生法、止血法、AEDの取り扱いについて、最新の技術を研修することができました。

研修したことを使わないで済むのが一番よいのですが、もしもの時に備えることは私たちの使命であると考えています。

**6月7日(火)不審者対応避難訓練**



不審者から身を守るために、安全に素早く避難できる能力や態度を養う目的で、市のスクールガードリーダーをお招きして、避難訓練を行いました。不審者には1.5mから2m距離を置くこと、「いかのおすし」に気を付けて身を守るなど大切なことを学びました。

いか・・・ついていかない  
の・・・乗らない  
お・・・大声を出す  
す・・・すぐ逃げる  
し・・・知らせる

**6月14日(火)教生先生による授業**



教育実習生(養護教諭実習)による保健学習の授業風景です。該当学級の4年生の子供たちは、年ごとの自分の身長と体重の伸びをもとに、体の成長には、男女差と個人差があることを学習しました。また、自他の生命を尊重することの大切さも合わせて学習し、自分の心と体を見つめる良い時間となりました。

ご家庭でも、子供さんの赤ちゃんの頃の様子を話してあげてください。親の子供への思いが伝わるのではないのでしょうか。

## 6月17日(金)プール掃除



水泳学習を前にプール掃除を実施しました。6年生がクラス毎に掃除場所を分担し、きれいにしてくれました。プールの内と外をきれいにしてくれたお陰で、プール開きを気持ちよく迎えることができました。6年生に感謝!!!

## 6月21日(火)にこにこタイム



縦割り班(異学年集団)に分かれ、子供たちは、決められた場所に集合し、集団遊びを行いました。運動場で鬼ごっこをしたり、室内でハンカチ落としをしたり・・・。

実際に活動することとおして、異学年の子供たちが、互いに思いやりの気持ちをもって協力したり、我慢したりすることの大切さを学ぶ機会となっています。



## 6月23日(木)プール開き



「やったあ。初泳ぎ。」  
「気持ち良いね。今年も水泳がんばるよ。」

待ちに待った水泳学習の様子です。子供たちは、今年初の水泳学習に楽しく取り組んでいました。

プールでの学習をとおして、水から自分の身を守ることの大切さを学ぶとともに、1mでも長い距離を泳げるように、1秒でも速く泳げるようになってほしいという願いをもって指導しています。

当日は気温も上昇し、絶好のプールコンディションでした。水泳は、シーズン制のスポーツと言われます。壁のあるプールだけでなく、壁のない海などで泳ぐことも必要なことです。海水のしょっぱさや波の強さや音を体感しながら、ぜひ水泳の技能を高めていってほしいと思います。

## 6月28日(火)緑のカーテン



音楽室前の「緑のカーテン」の風景です。本校では、音楽室前と保健室前の2カ所に「緑のカーテン」を設置しています。

ヘチマやフウセンカズラなどを植え、その生長した大きな葉によって日陰を作り、温暖化を防止することを目的としています。

ご家庭でも、緑のカーテンに挑戦され、省エネの一助とされてみてはいかがでしょうか。

植物を育てるという活動をとおして、自然のもっている偉大な力を実感できると思います。

(文責： 教頭 水野 昭)

## 8月の行事予定

日	曜	行 事 等
21	日	登校日 P T A 奉仕作業8:00~9:40

## 9月の行事予定

1	木	始業式 給食開始	19	月	敬老の日
5	月	A L T 来校	20	火	5年自然体験学習（～22日）
8	木	給食集金日	23	金	秋分の日
12	月	委員会活動	24	土	山口市科学展（～25日）
14	水	国体見学（5・6年 水球）	26	月	クラブ活動 A L T 来校
15	木	学年集金日	29	木	一日フリー参観日 6年学年PTA活動 給食試食会

## －道徳について考える－

教育は百年の計です。ここ数年の取り組みが21世紀の学校を創っていくとあって良いです。変化の激しい社会において、50年先、100年先を見通すことは容易ではありません。

しかし、教育の目的において厳然として変わらないもの、それは、幸せに生きることが出来る人間を育てることです。学校はそのための中心的な役割を果たさなければなりません。

## 「道徳教育とは・・・」

「道徳教育」という言葉に、どんなイメージをお持ちですか？

何か堅苦しいイメージがあったり、「自分には人に教える道徳性があるのかなあ」など、自信がなかったりしませんか？

今月は、学校だよりの誌面をお借りして「道徳教育」について一緒に考えてみたいと思います。

## 今の自分より、ちょっぴり よい生き方を見つける

小郡小では、朝のあいさつ運動が行われています。担当したクラスの児童が、昇降口で元気にあいさつをリードしています。P T Aの方も協力していただいております。

ある日の朝、「わたしのあいさつ、とてもいいって言われた～！」と、うれしそうに教室に駆けこんできた児童がいました。あいさつをほめられた児童は、きっとこれからも、もっと気持ちのよいあいさつを続けるでしょう。また、「あれならばくにもできそうだ。」と思った児童もいると思います。

このように、ふだんの自分をふりかえり、今の自分がちょっぴりがんばればできる、よい生き方を見つけることが大切であるととらえています。（それが、実践できればサイコーですよ！）

## 本校の道徳教育

言葉の教育を柱にして  
道徳性の涵養を図る

私たちが人と関わる時や物事を考えるとき、そこにはいつも「言葉」があります。

「言葉の力」が豊かに広がることで、私たちの生き方もより豊かに広がっていくのではないのでしょうか。例えば、校長室暗唱や朝の音読タイムも、美しい言葉や温かい言葉にふれることによって生き方を豊かにしていく取り組みのひとつだととらえています。